



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2126号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2189回例会

2017.12.14晴

司 会

遠藤眞道君

ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 赤池克斗君

会長挨拶

副会長 佐野宏三君

皆さんこんばんは。年の瀬を告げる流行語大賞や世相を反映した漢字一文字が発表されて今年も残すところ2週間余り、年々、月日の経つのが早く感じられるのは私だけでしょうか。例年に比べて寒い日が多く、寒さが増すにつれて、インフルエンザが流行りだしました。学級閉鎖や予防ワクチンが足りないというニュースになっています。

さて今月は、2014年にRIが制定した特別月間「疾病予防と治療月間」です。まだ馴染みが薄い月間ですが、マイロータリーから引用すると、毎年世界で10億人がデング熱やハンセン氏病に苦しみ、先進国の症例が少ないため製薬会社の開発が遅れています。保健従事者の数が人口1万人あたり23人に満たない国が57ヶ国、毎年世界で240万人の医師、看護師、助産師、熟練介護者が不足しています。また6人に1人が医療費を払うことが出来ず、医療費の負担によって毎年1億人が貧困生活に追い込まれています。この特別月間の目的は、開発途上国の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止める合併症を減らすための疾病予防プログラムの推進、医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止するための地域社会の教育、疾病予防と治療に従事することを目指す人に奨学金を支援する月間であり、ロータリーは、疾病の原因と影響を減らすための活動と研修を支援すると記載されています。いろいろなロータリークラブのホームページをみると、12月はこの月間にちなんで外部卓話者を含めて医療関係者の卓話が多く載せられています。次年度から当クラブも3年前に制定された、いくつかの特別月間の周知とこれに則した卓話が出来るように、クラブ管理運営委員会と協議を進めていきたいと思っています。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 松本邦夫さん
(佐野・前田(房)・遠藤(眞)君のゲスト)
加藤憲勝さん
(遠藤(正)・佐野・前田(邦)君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メー ア ッ プ	修 出 席 率
前々回	32/39	82.05%	35/39	89.74%
今 回	32/36	88.89%	会員総数	45名

欠席者 大石君、鈴木(郁)君、長田君、花房君

幹事報告

幹事 宇田川茂君

- ①本日はクラブ協議会です。各委員会の委員長さんに上期を振り返っていただきます
- ②来週は家族忘年会で場所と時間の変更がございます。みしまプラザホテルで18時開会点鐘です
- ③静岡第2分区IMの案内です。
日時:2018/2/17(土)14時～18時30分
場所:東レ総合研修センター
ホストクラブ:伊豆中央RC
- ④三島市民生涯学習センター20周年記念事業としてトークショーの案内を皆様のポケットに入れてございます。
- ⑤伊豆中央RC長友会長の奥様が(享年61歳)12/8に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2017～2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー:変化をもたらす

クラブ協議会

SAA

遠藤眞道君

親睦をモットーとした例会運営が会員皆様のご協力により、前期はスムーズに進むことが出来ました。会員の私語もなく、会長挨拶、幹事報告も時間通りに行われ感謝しております。卓話者の余った時間をメンバーにサービスしていただきありがとうございました。10年に一度の大改革、テーブル位置替は大成功に終わり、会員一人一人が喜びに満ちている気持ちが伝わってきます。後期はもっともっとアイデアを出して三島西ロータリークラブの例会ここにありと思われるよう例会作りに励みます。

会員増強維持委員会

委員長 前田房江君

8月に増強月間という事でテーブルミイティングの時間をとっていただき情報提供いただきました。おかげさまで増強目標純増1名に対して皆様のご協力により来年1月に松本様、加藤様の入会予定となっております。

引き続き皆様からの情報提供いただき、退会者の防止に努めつつ、さらなる積み増しを目指していききたいと思います。よろしく願い致します。

クラブ広報委員会

委員長 梶山 豊君

1.基本方針はロータリー活動や情報を地域社会の人々に知っていただくための、広報活動を行う。

2.会報(週報)はこれまでも続けてこられたものですので、継続して発刊して親睦活動やクラブ内の情報の共有化を図る。

活動内容 新聞に掲載

7月19日 会長・副会長・幹事・会計の名前

8月21日 献血活動 23名参加

10月21日 見晴フェスティバル

週報は5名の委員が月毎担当しました。

「ロータリーの友」への投稿は柴崎恵子さんのお力添えもあり1回投稿致しました。個人的には秋の叙勲で熱海新聞に当クラブの橋本裕子さんの旭日双光章や黄綬褒章受章の遠藤正幸さんらの多彩な有能な方々が当ロータリーにおられ誇りに感じます。

クラブ管理運営委員会

委員長 矢野敏夫君

今年度上半期のプログラムは、9月28日の親睦家族例会が延期になり、通常例会となった以外大きな変更はありませんでした。また卓話者の変更が8月31日、9月28日、10月26日とありましたが、代わりの方をお願いして卓話ができました。

下半期のプログラムは今のところ2月1日を夜間例会に変更して、苗栗の中学生の歓迎例会を行う予定です。また卓話予定者には事前に「卓話の御連絡」という連絡文を配り、卓話日についての確認を行っています。

上半期の出席率については以下の通りです。

前期修正出席率

7月 90.46%

8月 88.20%

9月 91.09%

10月 90.35%

11月 88.21%

前期(5ヶ月)平均修正出席率 89.66%

これから下半期にかけてプログラムのスムーズな進行、特に卓話者に変更ある場合の適切な対応、出席率の向上等に努めてまいりますので、何卒皆様の御協力をお願いいたします。

親睦活動委員会

委員長 木村安紀夫君

活動報告

(1)9月14日(木)

松韻にて夜間親睦例会実施 33名参加

(2)12月21日(木)

みしまプラザホテルにて年末親睦家族例会を企画準備中
総勢80名を超える参加を見込んでおります

盛り沢山の手作り企画を用意、ご家族、お子様にも楽しんでいただけるよう張り切っております

(3)スマイルボックス実績

11月末まで、128,269円のスマイルをいただいております

(4)例会資料配布

今後の活動予定

(1)来年4月～5月で日帰りバスツアーを予定しております

山梨、長野方面で観光、グルメを中心に楽しい企画になるよう皆様のご意見を取り入れて企画して参りたいと思います
皆様に参加できるよう土曜日、日曜日を予定したいと思います

(2)6月28日(木)長岡、はなぶさ旅館にてサヨナラ例会及び慰労激励会を予定

(3)その他、4クラブ合同新年会、台湾遠征旅行の開催協力

ロータリー情報委員会 委員長 遠藤正幸君

◎新会員が入ったとき、スポンサーを交えて勉強会を開催する。比較的新しい会員にも参加を呼びかける。
…2名の入会が近くあるので年明けに勉強会を実施します。
◎地区大会や、地区協議会に積極的に参加していただき情報の収集に努める。
…地区大会に出席してきました。
◎地区の資料を出来るだけ集め広報する。
…来年度に向けて定款・細則・内部規定を見直し理事会に報告します。

職業奉仕委員会 委員長 鈴木正二君

4月の地区協議会で、2016年の規定審議会で「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれると追加されたので何が出来るか各クラブで大いに議論してほしい」と言われ、大いに焦りました。そして一歩が踏み出せないまま上期が終わってしまいます。1月の職業奉仕月間、1月27日の職業奉仕セミナー参加に向け委員会での議論を始めます。

社会奉仕委員会 委員長 千葉慎二君

8月19日(日) 10:00～16:00、日清プラザにて、県赤十字血液センターに協力して献血推進活動を実施。41名の受付・33名の献血実施。午前と午後の部に分け、総勢17名、延べ22名のメンバーのお手伝いを戴きました。(新聞掲載)
8月23日(水) グランシップにて、9年に亘る上記のような献血推進活動が評価され、日本赤十字社静岡県支部より支部長感謝状を授与されました。
10月15日(日) 10:00～14:30、見晴フェスティバルに参加し、650名分のトン汁、焼き鳥、甘酒、ジュースなどを提供。絵画コンテストの入賞者への副賞も提供しました。前日の仕込み準備も併せ、奥様10名、メンバー24名の参加を戴きました。また、会員企業からのご支援ご寄付を沢山戴きました。
10月21日(土) 13:00～15:00、日清プラザにて、地区のエンド・ポリオ・プロジェクトの一環として、三島RC、せせらぎ三島RCとの合同で街頭募金活動を実施。日大三島高、知徳高のインターアクト12名、メンバー25名(内、三島西RCから5名)のお手伝いを戴き、43,380円の募金を集めました(この他に三島西RCの募金35,000円)。(新聞掲載)
平出さん(副委員長)、鈴木(郁)さん、田熊さん、三田さんと5名で前半目白押しのイベントに取り組みましたが、次年度は社会奉仕委員会メンバーの増員のご検討を申し送りたいと思います。
委員会メンバーをはじめ多くの皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

国際奉仕委員会 委員長 栗原達治君

活動計画の進行状況

1. 苗栗RCとの国際親善活動

○苗栗RC創立47周年記念式典へ、姉妹クラブとして出席する。

予定日:平成30年3月17日(土)

参加者を募ったところ、12月8日現在33名が参加していただけるとの事、大変ありがたいことです。本日例会終了後打ち合わせをしたいと考えています。

2. 苗栗交換中学生の受け入れを実施する。

(平成29年11月頃打ち合わせ、受け入れは平成30年1月末もしくは2月初旬)

受入日程:平成30年1月27日(土)～2月2日の1週間

受入中学生:男子2名(佐野宏三家)女子6名(宇田川茂家・木村安紀夫家・鈴木正二家)

受入内容他:

12月5日 清水町産業観光課と打ち合わせ
三島市学校教育課と打ち合わせ

12月7日 富士山南東消防本部と打ち合わせ

平成30年1月27日(土) 羽田空港迎え

1月28日(日) ホームステイ先家族と行動

1月29日(月) 清水町長表敬訪問・清水中学体験入学

1月30日(火) 三島市長表敬訪問・中郷中学校体験入学

1月31日(水) 三島西RC主催観光・箱根・御殿場

2月 1日(木) 消防署・三島市清掃センター見学・歓迎例会

2月 2日(金) 羽田空港へ送り・帰国

詳細を打ち合わせ中です。

3. 三島市国際交流フェアへの協力

(平成30年5月下旬)⇒6月3日(日)に日程変更

4. 苗栗東南RC、多治見西RC、酒田東RCとの親善交流を促進する。

酒田東RC創立50周年式典が、平成29年9月30日に実施、三島西RCメンバー11名(会長幹事を含む)が参加した。

ロータリー財団米山委員会 委員長 柴崎恵子君

多大なご協力をいただき有難うございます。

前期ロータリー財団にご協力 1790ドル

前期米山奨学会にご協力 31万円

重ねて有難うございます。

後期もよろしくお願い致します。

おめでとう

会員誕生日	須田君、千葉君
入会記念日	諏訪部(敏)君、須田君
奥様誕生日	須田君、藤江君
結婚記念日	諏訪部(敏)君



スマイルボックス

◆Cテーブル、先週7日(木)テーブル会を開催しました。会長、オブザーバーの加藤さんにもご参加して頂き、大いに親睦、交流を深めることができました。残金スマイルします。

ROTARY NEWS

ロータリーとゲイツ財団が第5回世界ポリオデー特別イベントを開催 撲滅活動の進展を報告

10月24日、ロータリーリーダー、保健専門家、著名人らが集った世界ポリオデー特別イベントで、ポリオ撲滅がこれまでの歴史上で最も現実に近づいていることが説明されました。このイベント(End Polio Now:歴史をつくるカウントダウン)では、ポリオをなくすために尽力する人びとを紹介し、世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)の進展を振り返りました。ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団が共催したこの45分間のイベントは、米国ワシントン州シアトルにあるゲイツ財団本部で行なわれ、その模様は世界にライブ配信されました。NBCの地元局アナウンサーでシアトル・ロータリークラブ会長のマーク・ライト氏、CNNアナウンサーのフレデリカ・ウィットフィールド氏が司会を務めました。

ライト氏は、野生ポリオウイルスによる今年の症例数は12件(アフガニスタンで7件、パキスタンで5件、ナイジェリアは0件)であることを報告。この数字は2016年と比較して70%の減少であり、歴史上で最も少ない数字であることを付け加えました。

「この活動のスケールは壮大です」とライト氏。「毎年、洗練されたワクチンの供給・運搬ネットワークを通じ、実に22億服のワクチンが4億3000万人の子どもに投与されています」

ゲイツ財団最高執行責任者のスー・デスモンド・ヘルマン氏はイベントの冒頭で、ロータリー会員と前線で活動する保健従事者のポリオ撲滅への献身を称えました。デスモンド・ヘルマン氏は、「世界中の何千人ものボランティアが、時には危険な状況に立ち向かいながら活動してくださるおかげで、この活動が可能となっている」とし、「これらの影の立役者は、ロータリアンと共に活動しています。世界のどこにしようと、ロータリアンは、静かながらも確固たる決心を示しています。1600万人の子どもたちがまひにかからず、自分の足で歩いていることは、彼らの尽力なくしてはあり得ません」と述べました。今年6月に行われたロータリー国際大会で、ゲイツ財団

とロータリーは、ポリオ撲滅活動における長年のパートナーシップ合意を更新しました。具体的には、今後3年間、ロータリーが毎年5000万ドルを集めるごとに、ゲイツ財団が2倍の上乗せを行うというものです。この合意により、ポリオ撲滅のために4億5000万ドルが集まることになります。

ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅のために17億ドル以上を投入してきました。今月初め、ロータリーはGPEIが先導する予防接種とサーベイランス活動を支援するため、4950万ドルの補助金を提供しました。国際ロータリー副会長ディーン・ローズ氏もイベントでスピーチし、ロータリー会員が革新的な方法でポリオ撲滅のための募金を行なっていることを紹介しました。その例として、南アフリカのロータリークラブが地元の商店にEnd Polio Nowの貯金箱を設置したことや、ブラジルのロータリークラブがロックコンサートを実施してチケットの売上金をポリオ撲滅に寄付したことなどに触れました。

ローズ副会長はまた、世界ポリオデーにちなみ、世界中でロータリアンが2,700件以上のイベントを開催しているとし、「歴史とは複雑なものです。ポリオワクチンを開発したジョナス・ソークやアルバート・サザンのような方々に助けられながら今日までできましたが、その裏は複雑であり、影の立役者がいます。その中で一番なじみのある人びとは、私の仲間であるロータリアンたちです」と述べました。

さらに、「ロータリー会員は、異なる文化の懸け橋となり、世界の隅々の地域で活動している」とローズ副会長。「子どもの健康のために2滴のワクチンがいかに重要かと保護者を説得したり、パキスタンでは大規模な全国予防接種日に参加し、4000万人の5歳未満の子どもたちにワクチンを投与しました。また、予防接種の重要性に対する認識を高め、募金活動を行っています」

(週報担当:森崎祐治)